

新しい職員を紹介します

4月16日から千歳市立桜木小学校に赴任しました、事務職員の〇〇〇〇といいます。

〇〇〇〇〇〇〇のCMで有名な〇〇管内の〇〇町にある〇〇小学校から赴任してきました。保護者や地域の皆様のお役に立てるよう精一杯頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。

行事等の変更について

7月までの行事等の変更などについては、すでにお知らせしていますが、5月の予定で中止や延期になるものが分かるように表示しています。

なお、5月28日と29日は、運動会の実行委員会を行うためにB日課としており、下校時刻が早くなる学年がありました。実行委員会はありませんが、下校時刻は予定どおりとするため、日課の変更は行わず、全学年下校時刻が早くなります。

今後も、急な予定の変更が想定されます。変更などは、早めにメールで保護者にお知らせします。

2年生の交通安全教室について

2年生の交通安全教室は、交通公園へは行かず、学校で交通指導員の方のお話を聞く内容で実施します。

5月27日の給食について

5月27日は、運動会の総練習のため、給食をカットし、弁当を持参する予定でしたが、運動会が延期となったため、給食を食べるように変更します。

今後、遠足など、給食をカットしていた日は、給食を食べるように変更していきます。

その場合、5月6日までの臨時休業で給食をカットした分を振り替える形での変更となります。

給食費については、年間の食数が変更となりますが、このようにお弁当の日をなくす対応をまずさせていただきますので、徴収金額などの詳細については、改めて保護者の皆様にお知らせします。

千歳市立桜木小学校
千歳市自由ヶ丘7丁目1-1
TEL: 0123 (22) 3301
URL: https://chitose-edu.jp/sakuragi-e/

5月の行事予定				
日	曜	【月別目標】 『廊下歩行』 ・きまりを守って、生活しよう。 ☆運動会の練習をしっかりとしよう。 〈保健〉外で元気に遊ぼう。 〈給食〉みんなで後片付けをしよう。		△給食なしの学年 その他の学年は給食があります
		学 校 行 事	児童会関係	給食
1	金	臨時休業		×
2	土			
3	日			
4	月			
5	火			
6	水			
7	木	内科検診(4～6年13:00～)【延期】		○
8	金	避難訓練(春：地震)【中止】 ※心の教室相談日		○
9	土	土曜授業②—B日課3時間授業【中止】 地域公開日【中止】 引き渡し訓練(放課後)【中止】		
10	日			
11	月	校外清掃(中休み)	児童委員会②	○
12	火	交通安全教室(5・6年) ※心の教室相談日		○
13	水	声かけ運動 ※SC来校日(9:00～12:00)		○
14	木	-(P)-役員会④合同推進委員会・運営委員会④【中止】		○
15	金	交通安全教室(2年)※学校で実施 ※心の教室相談日		○
16	土			
17	日			
18	月			○
19	火	尿検査(1次) ※心の教室相談日		○
20	水	C日課(4～6年) 声かけ運動		○
21	木	内科検診(1～3年13:00～)【延期】 -(P)-役員会②【中止】		○
22	金	※心の教室相談日		○
23	土			
24	日			
25	月			○
26	火	※心の教室相談日		○
27	水	給食費・教材費・PTA会費振替日		○
28	木	B日課 ※SC来校日(13:30～16:30)		○
29	金	B日課 ※心の教室相談日		○
30	土	第43回運動会【延期】		×
31	日			



「普通の生活」と「健康と命」の大切さ

校長 近藤 弘隆

年度当初、4月の学校だよりで『学校の日常を取り戻すために』と題し、「入学式・始業式の実施」、そして「桜木小学校にも、子どもたちがいて、先生がいて、勉強などいろいろな教育活動を行うという学校本来の姿が戻りつつあります」という内容の文章を掲載しましたが、それからわずか1週間も経たないうちに千歳市内小中学校の4月17日(金)午後からの臨時休校がきまりました。そして、「緊急事態宣言」の対象が全都道府県となり、北海道知事の要請を受けて、20日(月)から全道の小中学校が臨時休校に入りました。2月末の「北海道非常事態宣言」に続いて、2回目の臨時休校。子どもたち、そして学校の教育活動への影響は大きくなっています。

「常識(じょうしき)」とは、社会を構成する者が有していて当たり前のもとなっている、社会的な価値観、知識、判断力のこと。また、客観的に見て当たり前と思われる行為、その他物事のこと、と言われていますが、前例のない感染症の拡大に対しては、もはやこれまでの常識は通用しなくなっています。子どもたちが毎日学校に来て友だちと勉強したり遊んだり、学校が終わった後も友だちと遊んだり習い事に行ったり、大人も毎日職場に通勤して仕事をしたり、休日には家族そろって出かけたり……。これまで毎日普通にできていたことができなくなり、当たり前だと思っていた日常の生活が、決して当たり前のことではなく、とても貴重な毎日であったと、改めて『普通の生活』の有難さに気づかされたのではないのでしょうか。

また、もうひとつこのような状況だからこそ改めて考えさせられたのは『健康と命』の大切さではないのでしょうか。増加する感染者と亡くなった方の数が毎日報道され、自分もいつ感染してしまうのか、家族が感染したらどうするか、感染したら軽症で終わるのか重症化するのか、症状は出ていなくても自分が感染を広げてしまっているのではという不安や恐怖を感じている方も多いのではないのでしょうか。また、医療崩壊の中、懸命に治療に当たっている医療関係者の皆さんの姿を見て、感謝の思いを抱いている方も多いと思います。しかしその反面、残念なことにそうした不安や恐怖から、感染者や医療従事者に対する偏見や差別があるのも事実です。始業式の校長の話でも伝えましたが、この機会に改めて子どもたちに『普通の生活』と『健康と命』の大切さを教え、感染は誰にでも起こりうること、そのために今できることは何か、また普通の毎日を大切にしてお過ごししていくこと等を、しっかりと教えていかななくてはならないと思っています。

この学校だよりの原稿を書いている段階では、「緊急事態宣言」や休校要請の期間延長の話は出ていませんが、コロナウイルスへの対応はまだまだ長期化することが予想されています。今後も学校の教育活動に制約を受ける状況は続きますが、子どもたちの学習機会を保障できるように、学校として最大限の努力をして参りますので、保護者の皆様におかれましても、引き続き子どもたちの健康管理、感染防止対策にご協力をお願い申し上げます。

